

平成30年度第1回 秦野市情報化推進委員会（会議概要）

日 時	平成31年2月21日（木） 午後2時～3時30分
会 場	教育庁舎大会議室A B（市役所教育庁舎3階）
出 席 者	委員（12名中8名出席） 内藤会長、高橋副会長、大塚委員、熊谷委員、佐野委員、 関野委員、廣瀬委員、山口委員
	秦野市情報政策課 船村課長、坂本課長代理、山口主任主事、関根主事補
内 容	1 開会 2 議題 秦野市情報化推進計画の進ちょく状況等について 資料1-1～1-2 3 報告 オープンデータへの取組状況について 資料2 4 閉会

次 第	会 議 概 要
開 会	<情報政策担当課長代理> ・ 会議出席へのお礼
あいさつ	<情報政策課長> ・ あいさつ
	<情報政策担当課長代理> ・ 配布資料の確認 ・ 委員の紹介 ・ 委員会運営方法及び会議録への署名について説明 <議長> ・ 会議録への署名に、副会長を指名
議題	秦野市情報化推進計画の進ちょく状況等について <資料1-1及び1-2に基づき事務局から説明> ・ 情報化推進計画について概要説明 ・ 進行状況については、全体の6割程度が「計画どおり」、4割程度が「おおむね計画どおり」であり、「やや遅れている」又は「遅れている」とされた計画はなかった。 ・ 特に動きのあった事業推進計画として、計画番号1「申請・

次 第	会 議 概 要
	<p>届出など手続の電子化の推進」、計画番号2「統合型地理情報システム（GIS）の充実」、計画番号12「学校におけるICT教育の環境整備」、計画番号13「不登校児童生徒に対するICTを活用した学習支援」、計画番号14「学校におけるICT活用の推進」及び計画番号17「情報セキュリティポリシーの改定」の6計画について説明。</p> <p><資料1-1及び1-2について意見・質問></p> <p>・計画番号1「申請・届出など手続の電子化の推進」</p> <p>（委員）</p> <p>新規に追加された2手続とは具体的にはなにか。また、利用実績はどの程度か。</p> <p>（事務局）</p> <p>1件目は生涯学習文化振興課が所管している「文化財振興基金への寄附の申し出」である。この手続きについては、担当課の業務効率化を目的として電子申請化したが、元々の申請件数が少数ということもあり現時点での利用実績はない。</p> <p>2件目はスポーツ推進課が所管しているラグビーの試合観戦申込みを電子申請で実施した。こちらは、先着80人までという申請手続きであったため利用件数としては少ないが、所管課の想定よりも早く応募件数が上限に達したと聞いており、一定の効果があったと考えている。</p> <p>（会長）</p> <p>電子申請化を推進するにあたって、進めやすい手続きや課題がある手続き等はあるのか。</p> <p>（事務局）</p> <p>課題のひとつとして、本人確認が難しいという点があると考えている。</p> <p>これについては、個人番号制度が開始したことでマイナンバーカードによる本人確認が可能になり、課題解決に向かっている面もある。本市でも児童手当等の一部手続きでマイナンバーカードを利用した電子申請を実施している。</p> <p>しかしながら、マイナンバーカードの普及割合に左右される部分もあり、電子申請の利用件数増加には大きくつながっていないのが現状である。</p>

次 第	会 議 概 要
	<p>電子申請化の推進対象として考えているものの大部分は、厳格な本人確認を必要としないイベント申込み等であり、電子申請を活用した申請手続が行える環境づくりを引き続き進めていきたいと考えている。</p> <p>(委員)</p> <p>がん検診や市民健康診査等について、5割程度が利用しているとのことだが、年配の利用者も多い中、実態はどうか。</p> <p>(事務局)</p> <p>これらの手続きについては、比較的早い段階で電子申請化した手続きであること、また、所管課の積極的な周知により利用者に定着していること等の理由により、他の手続きより利用件数が多く、電子申請の利用件数全体のうちの5割程度を占めているものと考えている。</p> <p>(委員)</p> <p>5割という割合は、がん検診や市民健康診査の申込件数全体のうちの割合ではなく、電子申請の利用件数全体からみた割合ということか。</p> <p>(事務局)</p> <p>そのとおりである。</p> <p>・計画番号2「統合型地理情報システム（GIS）の充実」</p> <p>(会長)</p> <p>概ね計画どおりの理由はなにか。</p> <p>(事務局)</p> <p>当事業推進計画については、当初計画では平成29年度中にシステム選定と新システム稼働開始としていたところ、仕様検討等に時間を要し計画を後倒しした経緯がある。</p> <p>現状、見直し後の計画どおり進んでいるところではあるが、当初の予定からは遅れた状況であるため概ね計画どおりとしている。</p> <p>(会長)</p> <p>現在は庁内向けシステムを稼働中で、今後、外部への公開型GISを検討していくということか。</p> <p>(事務局)</p>

次 第	会 議 概 要
	<p>そのとおりである。</p> <p>現在は庁内の様々な部署が保有している地図情報を一括管理することを目的として統合型G I Sを構築し、利活用拡大を図っているところである。</p> <p>(会長)</p> <p>公開型G I Sの利用対象としては、どのような利用者を想定しているのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>現時点で検討中ではあるが、都市計画や道路情報等を登載することになることから、不動産や建設関係の事業者から一定のニーズがあると考えている。</p> <p>また、介護保険事業者や子育て関連施設の所在地等を登載し、市民生活に役立てられているといった事例もあるため、幅広い視点から検討していきたいと考えている。</p> <p>(委員)</p> <p>現在の庁内向け統合型G I Sに防災マップといった情報は登載されているのか。また、公開型G I Sではどうか。</p> <p>(事務局)</p> <p>庁内向け統合型G I Sにも防災マップは登載している。</p> <p>防災マップについては、現在でも市ホームページで公開されている情報でもあり公開型G I Sにも登載するべきと考えている。</p> <p>・計画番号12「学校におけるICT教育の環境整備」</p> <p>(会長)</p> <p>学校へのスマートフォン持込み等に関する報道が昨今なされているが、この事業で扱うタブレット端末の使用は教育目的に限ったものということか。</p> <p>(事務局)</p> <p>搭載しているアプリケーションは授業や課外活動目的のものに限られており、目的外において使用はされないようになっている。</p> <p>(会長)</p> <p>個人に貸出しをしているのか。</p> <p>(事務局)</p>

次 第	会 議 概 要
	<p>一人1台という体制ではなく各学校単位で配置しており、授業内容に応じてタブレット端末を活用している。</p> <p>(委員) 今後の取組方針として、タブレット端末の拡充を進めるとあるが、端末の台数を増やしていくということか。</p> <p>(事務局) そのとおりである。 普通教室を対象とした導入が完了したため、今後は普通教室以外への導入を検討する。</p> <p>(会長) ICT機器は変化が早く、導入した端末が旧態依然となってしまうこともあるかと思うがどうか。</p> <p>(事務局) 契約に従い、端末は3年程度で入替えとなる予定である。</p> <p>(委員) 計画番号12については、「ICT教育の環境整備」を目的としており目標値が定量的でわかりやすいと思う。 それに対して、計画番号13及び14については、「ICTを活用した学習支援」や「ICT活用の推進」が主たる目的となっており、定量的な目標値が設定しづらいと思う。 おそらくタブレット端末等を活用した取組みを進めた結果、「概ね計画どおり」となっていることだと思うが、「学習支援」や「ICT活用の推進」といった目的達成のための具体的な目標値等を教育委員会において設定しているのか。</p> <p>(事務局) 計画番号13については、教育支援教室への通所児童生徒のうち何割がアプリケーションを利用した学習活動を実施できているかを目標値として設定している。 計画番号14については、教職員に対する研修会の実施回数を目標値としている。 今年度の進ちょく状況については、それぞれの目標値に対する進ちょく度合いにより「概ね計画どおり」としているものである。</p>

次 第	会 議 概 要
	<p>ただし、御指摘のとおり、どちらの目標値設定についても計画本来の目的達成に直接つながっていない部分もあるため、今後の進ちよく管理や次期情報化推進計画の策定の中で改善を図ってきたい。</p> <p>・計画番号13「不登校児童生徒に対するICTを活用した学習支援」 (会長) 私の在席している大学の新入生に対してeラーニングによる学習を実施しているが、受講率が低く、受講を強制しているような状況である。 この教育支援教室の児童生徒に対しては、学習アプリケーションをどのように利用させているのか。 (事務局) 教育支援教室に通所する児童生徒の中には、学習支援を必要とする児童生徒もいれば、コミュニケーション面等での支援を必要とする児童生徒もいるなど、状況は様々である。 学習アプリケーションの使用については、その児童生徒の状況に応じて活用している状況である。</p> <p>(会長) 学習アプリケーションというものは、なにか定番のソフトウェアがあるのか。 (事務局) 市販のパッケージソフトウェアを使用している。</p> <p>・計画番号14「学校におけるICT活用の推進」 (会長) この研修会の講師は誰が務めているのか。 (事務局) おそらく外部の講師だと思うが、確認する。(事務局追記：タブレット端末や学習アプリケーション等の提供事業者が講師を務めている。(平成31年2月22日教育研究所に確認))</p> <p>・計画番号17「情報セキュリティポリシーの改定」 (委員)</p>

次 第	会 議 概 要
	<p>この事業推進計画では、情報セキュリティポリシーの改定と改定に合わせて情報セキュリティ監査を同時に進めていくということか。</p> <p>(事務局)</p> <p>現在、情報セキュリティ監査の実施に向け準備を進めているところであり、その準備と併行して、情報セキュリティポリシーの改定の検討を進めていく予定である。</p> <p>(会長)</p> <p>情報セキュリティポリシーの規定のとおり事務が実施されるように取り組んでいくということか。</p> <p>(事務局)</p> <p>そのとおりである。情報セキュリティ監査の目的は、情報セキュリティポリシーで定められた規定どおり、各課等において事務処理が適切に行われているかをチェックするものである。</p> <p>(会長)</p> <p>監査は内部監査か。</p> <p>(事務局)</p> <p>内部監査を実施する。</p> <p>(会長)</p> <p>実際に情報セキュリティポリシーに抵触するような事案はあるのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>大きな事案は発生していない。</p> <p>情報セキュリティに関する状況は日々変化しており、国のガイドラインもそれに合わせて改定を重ねている。整合性を図るためにも本市の情報セキュリティポリシーも見直しを進めていかなくてはならない。</p> <p>そのことと合わせて、内部監査の実施によって庁内の問題点の洗い出しを進めていく予定である。</p> <p>・その他事業推進計画について</p> <p>(委員)</p> <p>現行の情報化推進計画のあとに新たな5か年計画を進めていくということだが、次期情報化推進計画については、どのような流れで項目立てや策定を進めていくのか。</p>

次 第	会 議 概 要
	<p>(事務局)</p> <p>過去の計画では、情報化推進事業に関する各課等への照会結果を基に、各事業推進計画について情報化推進委員会等で検討を重ね策定した。</p> <p>次期情報化推進計画についても同様の流れを想定しているが、従来の内容に加えて、平成28年度に官民データ活用推進基本法が施行されたことに伴い、地方公共団体や民間事業者が保有しているデータを相互に活用していくことが、情報化推進施策の中心となってきている。</p> <p>そういった状況を踏まえ、次期情報化推進計画については策定を進めていきたいと考えている。</p> <p>(副会長)</p> <p>計画番号7「観光・防災Wi-Fiステーション整備事業」について、現在、市役所本庁舎等に設置されていることと思う。</p> <p>「補助金の動向を注視しながら、新たな設置箇所等を検討」とあるが、避難所等への設置についてはどのように検討しているのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>現在、二次避難所となる各公民館、保健福祉センター、総合体育館及び市役所本庁舎に設置しているところである。</p> <p>今年度は設置施設の拡充に向けた取組みを進めてきたところであり、結果として、来年度にほうらい会館、おおね公園及びはだのこども館にWi-Fi環境を整備する予定となっている。</p> <p>各小中学校の体育館については、教育関係の部署と調整し、引き続き設置に向け検討していきたい。</p>
報告	<p>情報化推進に関する取組みについて</p> <p><資料2に基づいて事務局が説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オープンデータへの取組状況及び今後の方針について説明。 <p><資料2について意見・質問></p> <p>(委員)</p> <p>秦野市がどのようなデータを持っているのかがわからないため、公開データについての要望が出しづらいつ感じる。</p> <p>例えば、オープンデータ化はまだされていないが、市が保有し</p>

次 第	会 議 概 要
	<p>ているデータの一覧等を示してもらえると、市民から要望が出しやすくなるのではないかと思います。</p> <p>(事務局)</p> <p>オープンデータ拡充に関する要望を出していただく前に、現時点ではオープンデータについての周知が必要な段階であると考えている。</p> <p>広報や市ホームページ等で周知を続けているが、周知は依然として不足していると考えているため、まずは市民への効果的な周知方法について検討していきたい。</p> <p>秦野市オープンデータライブラリでは、人口や避難所等のカテゴリ別にデータを公開しており、まずはご覧いただくことで秦野市のオープンデータについて知っていただきたいと考えている。</p> <p>(委員)</p> <p>更新は、どのくらいの頻度で行っているのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>基本的には、年度単位で更新しているが、AED設置箇所等の随時更新がされるデータは、その都度対応している。</p> <p>それ以外のデータについても、少なくとも1年に一度は所管課でデータを確認してもらい、常に最新の状態を保てるようにしている。</p> <p>(会長)</p> <p>データ作成や更新に係る作業量が膨大になるのではないか。</p> <p>(事務局)</p> <p>データの修正等は各所管課で分担して行い、情報政策課はその取りまとめをしているため、事務負担が大きく増えているわけではないと考えている。</p> <p>(委員)</p> <p>例えば、野鳥の生息場所のオープンデータが欲しいといった要望があがる場合もあると思うが、そういった場合に観光協会等の外部団体との連携もありうるのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>市として保有しているデータに限りもあるので、関係部署と連携してデータ拡充は図っていきたい。その中で、複数のデータに</p>

次 第	会 議 概 要
	<p>よる相乗効果が見込める部分もあると考えている。</p> <p>一方で、広くオープンデータ化されているデータよりも、利用範囲が限られるようなニッチなデータのほうが利活用のニーズが強いという考え方もある。</p> <p>利活用の方向性については様々な考え方があるので、関係団体等との連携を含め検討していきたい。</p>
閉 会	<p><情報政策課長></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議参加のお礼及び閉会のあいさつ <p>午後 3 時 3 0 分終了</p>